



国際組織への加盟を通じた戦略的な都市間連携の推進 ～都市の国際連携による持続可能な地域づくり～

浜松市企画調整部国際課

はじめに

浜松市は、日本を代表する輸送用機器や楽器、光・電子技術などの企業が多数立地し、世界市場で活動している、進取の気質あふれるものづくりのまちです。また、世界に誇る楽器産業の集積を基盤として音楽のまちづくりを掲げ、その特長を生かして、世界有数のコンクールである浜松国際ピアノコンクールを開催するなど国際音楽事業を展開しており、こうした活発な産業経済・音楽文化活動を背景に、海外での経験豊かな市民や多様な文化的背景を持つ外国人市民が多く居住しています。

本市ではこのような特長や強みを生かし、国際組織への加盟を通じた海外諸都市との交流・連携を戦略的に推進しています。

国際組織への加盟を通じた交流・連携

(1) 都市・自治体連合 (UCLG)

本市は、1,000以上の地方自治体および100を超える地方自治体連合組織が加盟する世界最大規模の地方自治体の連合組織である都市・自治体連合 (UCLG) に加盟し、海外諸都市との連携を深めてきました。UCLGは、世界組織並びに7つの支部組織で構成されており、本市はアジア太平洋支部 (ASPAC) に所属しています。UCLGは、国際連合とも緊密なパートナーシップにあり、その関連組織における地方自治体代表としての役割も果たしています。

2010年には、ASPACの会員都市が一堂に会する「UCLG ASPAC コンgress 2010 浜松」、2014年には「UCLG ASPAC 執行理事会 2014 浜松」を開催し、アジア太平洋地域の地方自治体間の一層の連携促進を図ってきました。浜松市長は現在、ASPACおよび世界組織の執行理事並びに評議員を務めており、UCLGに積極的に参画することで、インドネシアのジャカルタ市や韓国の仁川市をはじめとしたアジアの主要都市の首長とも友

好関係を構築しています。近年の中国・瀋陽市や杭州市、台北市などとの観光分野における交流協定の締結や、インドネシアのバンドン市との協力関係構築も、UCLGへの加盟を通じた積極的なネットワーク活用による信頼関係に基づく成果です。



「UCLG ASPAC コンgress 2010 浜松」 浜松宣言の採択



「UCLG ASPAC 執行理事会 2014 浜松」 会場の風景

(2) ユネスコ創造都市ネットワーク

2014年には、ユネスコ創造都市ネットワーク (音楽分野) へ加盟しました。同ネット



ワーク加盟を契機とし、世界の音楽文化の振興に貢献するとともに、音楽を中心とした分野で海外諸都市との交流・連携の推進を通じ、本市の将来像である「創造都市・浜松」の実現を目指しています。

(3) インターカルチュラル・シティ (ICC) ネットワーク

本市は多文化共生分野に先駆的に取り組んできた都市のひとつとして、これまでも「日韓欧多文化共生都市サミット 2012 浜松」を開催するなど、都市の国際連

携に注力してきました。2017年には、欧州の都市を中心に世界130を超える自治体が参加するインターカルチュラル・シティ（ICC）・ネットワークにアジアの都市として初めて加盟しています。

本加盟を契機とし、類似した課題を抱える海外の多文化共生都市との連携強化を通じた相互の課題解決や、多様性を都市の活力とした誰もが活躍できるまちづくりの実践をより一層進めていきます。



「日韓欧多文化共生都市サミット 2012 浜松」 浜松宣言の採択



「インターカルチュラル・シティと多様性を生かしたまちづくり 2017 浜松」 加盟合意書の締結

第2次浜松市国際戦略プランの策定

グローバル化が進展し、自治体単独では解決できない課題に対し、その解決に向けた都市間連携による国際的なネットワークの活用がこれまで以上に期待されています。そうした状況において、国境を越えた都市間の交流・連携が果たす役割はますます重要になっています。

また、企業の海外展開支援やインバウンドの推進、農林水産物の海外販路拡大などは国際的な視点を持った取り組みが求められており、重要な課題となっています。さらに、国際的なネットワーク加盟により構築した関係を通して、産業・観光、音楽など本市の強みや特長を生かした分野において、海外諸都市との互恵関係を構築し、

本市の持続可能な発展を目指すことも必要です。

こうした状況を踏まえ、本市の国際施策展開の指針となる「第2次浜松市国際戦略プラン」を本年2月に策定し、海外諸都市との交流や連携を効果的に進めるための基本的な考え方を「都市外交方針」としてまとめました。同方針の柱のひとつとして、UCLGなどの持つ国際的なネットワークの積極的な活用を通じた海外諸都市との関係構築を掲げており、都市の国際連携による持続可能な地域づくりを目指していきます。

都市間連携国際サミットの開催

今秋、本市において「都市間連携国際サミット 2019 浜松」を開催します。UCLG ASPACの会員都市やICCの参加都市が一堂に会し、互いの知見や経験を共有するとともに、国境を越えた都市間連携およびマルチステークホルダーによるパートナーシップの構築を促進する機会とするものです。

海外の自治体関係者とのネットワークを構築するとともに、国内外各都市における先進的な取り組みを直接聴講できる好機でもあります。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

都市間連携国際サミット2019 浜松

■開催概要

- 開催日：10月23日(水)・24日(木)
- 会場：アクトシティ浜松コングレスセンター4F
(静岡県浜松市中区板屋町111-1)
- 主催：浜松市、国際交流基金
- 共催：都市・自治体連合アジア太平洋支部 (UCLG ASPAC)
- 参加費：無料 (※事前申込制)
- 言語：日本語・英語 (同時通訳)
- 定員：10/23(水) 100人、10/24(木) 200人

プログラム：

≪10月23日(水)≫ 実務者セミナー

時間帯	内容
午後	◇インドネシア共和国バンドン市への漏水防止対策技術支援 ◇地域社会づくりのための相互交流 ◇多様性を生かしたまちづくりの実践

≪10月24日(木)≫ 首長サミット

時間帯	内容
午前	◇基調講演：「UCLGのネットワークを生かした都市間連携」 ◇セッション1：「多文化共生」
午後	◇セッション2：「国際戦略」 ◇セッション3：「SDGs」

※内容は執筆時点のものであり、変更される場合があります。
※プログラム詳細及び最新情報は浜松市HP参照。

■お問い合わせ・お申し込み先

浜松市企画調整部国際課
TEL：053-457-2359 FAX：050-3730-1867
E-mail：kokusai@city.hamamatsu.shizuoka.jp